

# DOCUMENT EYE series—213

混合交通を観察する

**● WHY**

近年、健康志向や環境意識の高まりなどで自転車の利用が注目されている。しかし、警察庁と(財)交通事故総合分析センターの資料によると、平成18年に起きた自転車に関する交通事故は17万4262件で、交通事故全体の約2割を占めている。自転車事故の約8割は対クルマとの事故。一方、歩行者との事故は2767件で、10年前の平成8年に比べて約4・75倍に増加している。このうち6件は死亡事故だった。



●観察場所／東京都葛飾区亀有3丁目 JR亀有駅前付近  
 ●観察日／10月11日(木曜日)  
 ●天候／晴れ  
 ●観察時間／16:50～17:50  
 ●観察者／5名

## 自転車利用者は両手でハンドルを握っているか?

街中では自転車側のルールやマナー違反も多く見られ、自転車の一時不停止、信号無視やスピードの出し過ぎ、片手運転や逆走、飲酒運転、無灯火など、対クルマや対歩行者にとって危険な存在になることも多い。片手運転は、バランスをくずしやすく、万一の時の運転操作が難しい。場合によっては、道路交通法の安全運転義務違反となる。また、広島県など、独自に傘差し運転などを禁止し罰則を設けている県もある。今回は、片手運転をする自転車利用者を観察した。



携帯電話で通話をしながら横断する自転車利用者

# ●片手で自転車を運転する自転車利用者を観察する

## 自転車利用者878人中

### 片手運転をしていたのは92人(10.5%)



携帯電話を片手に走行する自転車



おにぎりを食べながら走行する自転車の横をクルマが通過する様子も見られた

### ● WATCHING

## 携帯電話を片手にフラフラと走行する自転車

観察場所は東京・葛飾区のJR亀有駅南口周辺。観察時間帯は夕方だが周囲はまだ明るく、主婦や学生、社会人、高齢者など多くの人が自転車を利用していた。

1時間の観察で観察地点を走行した自転車利用者は合計で878人だった。このうち片手運転をしていたのは、92人(10.5%)だった。

片手運転の内訳は、92人中20人は携帯電話の使用(会話・画面を注視)、荷物を持ちたり前カゴの荷物を押えたりが8人、タバコを持って走行が6人、飲食(ジュースやおにぎりを食べながら)が4人だった。残りの54人は、携帯音楽プレイヤーの操作、犬の散歩用の紐を持って走行、片手をポケットにいれたまま、読書をしながらかくような例を見かけた。

観察では、片手運転をしていたのは、10代や20代と見られる若者が多かった。観察中に特に気になったのは、携帯電話の使用。画面を注視したり、会話に夢中で前を良く見えていない例が多く、フラフラと走行しがちだった。飲食の場合も同様で、片手運転の時間・距離が長く走行が不安定に見えた。クルマの通行量が多いところでは自転

### ● PROPOSE

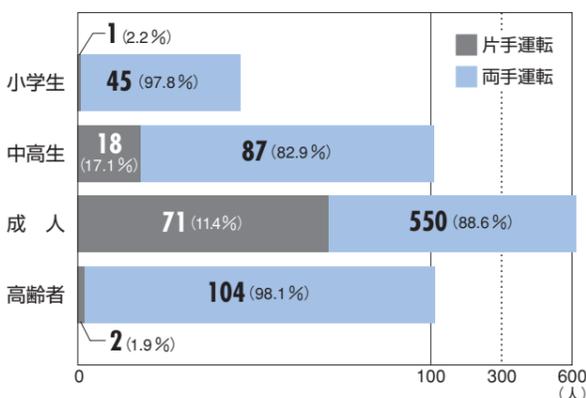
## 個人の自覚で自転車の片手運転は防げる

観察では、片手運転の内訳は様々であった。携帯電話の使用など、運転以外の別のことに集中してしまうと、前方不注意や一時不停止の要因にもなる。また、自転車の片手運転は万一の場合に片側のブレーキしか操作できず、確実なブレーキ操作が不可能になるため転倒したり停止しきれずにクルマや歩行者に衝突するなど大事故につながる危険性が高い。

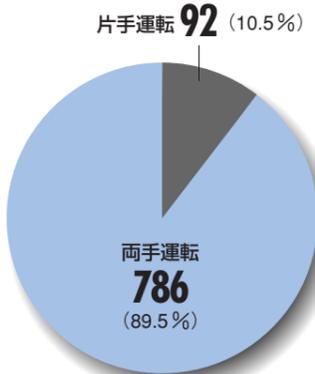
携帯電話を見ながら、あるいはヘッドボトルを持ちながらなどの自転車の片手運転は、個人の自覚さえあれば確実に防

車側も注意して走行するようだが、クルマが少ない地点では、歩行者が多いため自転車利用者が片手運転で走行してしまうように注意を怠るケースもみられた。歩行者側もクルマが少ないとおしゃべりに夢中になっていたり、急に立ち止まったりしている様子も見られ、クルマがあまり来ないような状況下でも、自転車側の注意が必要と感じられた。

●片手で自転車を運転する自転車利用者の状況(878人中)



※子ども(12歳以下)、中学生(13～18歳)、成人(19～64歳)、高齢者(65歳以上)の判断は観察者の見解による



## 「DOCUMENT EYE ファイルボックス⑤」発行

ご希望の方(先着100名様)に無料でお分けします

本紙連載中の「DOCUMENT EYE」の17事例を取り上げ、交通参加者に安全啓発を行う指導者が実際の現場で教材として活用できるように、右ページに問題編、左ページに解説編を掲載しています。現実の交通場面を知り、事故を未然に防ぐためのアドバイスが出来るようにさまざまなデータを加え、よりわかりやすくまとめました。ドライバーやライダー、自転車利用者、歩行者のさまざまな交通行動の特徴が掲載されています。



この「DOCUMENT EYE ファイルボックス⑤」(A4サイズ全40ページ)を先着100名様に無料でお分けいたします。ご希望の方は、郵便番号、住所、氏名、電話番号、使用用途、Sjへの感想を明記の上、下記のFAXまたはメールアドレスにお申し込みください。

<お申し込み先>  
 (株)アストクリエイティブ 安全運転普及本部係  
 FAX: 03-3405-1310  
 e-mail: sj-mail@ast-creative.co.jp  
 ご不明な点はTEL03-3405-1191までお問い合わせください。

※「DOCUMENT EYE ファイルボックス⑤」は、下記ホームページアドレスからPDFファイルにて全ページご覧いただけます。  
[http://www.honda.co.jp/safetyinfo/document\\_eye/](http://www.honda.co.jp/safetyinfo/document_eye/)